

2023年4月1日現在

東京大学経営協議会学外委員の選考理由

氏 名：佐藤 康博（さとう やすひろ）

現 職：みずほフィナンシャルグループ 特別顧問

略 歴：1976年 3月 東京大学経済学部 卒業
2002年 4月 株式会社みずほコーポレート銀行（当時） 国際企画部長
2002年12月 同 インターナショナルバンキングユニット統括役員付
シニアコーポレートオフィサー
2003年 3月 同 執行役員インターナショナルバンキングユニット
シニアコーポレートオフィサー
2004年 4月 同 常務執行役員営業担当役員
2006年 3月 同 常務取締役コーポレートバンキングユニット統括役員
2007年 4月 同 取締役副頭取内部監査統括役員
2009年 4月 同 取締役頭取（2013年7月まで）
2009年 6月 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役
2011年 6月 株式会社みずほ銀行取締役
株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役社長
（グループCEO）（2014年6月まで）
2013年 7月 株式会社みずほ銀行取締役頭取
2014年 4月 同 取締役（2018年4月まで）
みずほ信託銀行株式会社取締役（2018年4月まで）
みずほ証券株式会社取締役（2018年4月まで）
2014年 6月 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役兼執行役社長
（グループCEO）
2018年 4月 同 取締役会長兼執行役
2018年 6月 同 取締役会長
2022年 4月 同 取締役
2022年 6月 同 特別顧問

経営協議会委員の在任年数：2年

本学との関係（総長、理事等、常勤教職員の経験）：なし

【選考理由】

佐藤 康博 氏は、2018年6月にみずほフィナンシャルグループ取締役会長に就任し、現在は同グループの特別顧問となっており、金融、財務経営に関する深い専門的知見と国内外の幅広いネットワークを有している。また、2020年7月に東京大学が創設した「量子イノベーションイニシアティブ協議会（QII 協議会）」の会長に就任していただき、量子コンピューティングのためのエコシステムを構築することで戦略的に重要な研究開発活動を強化し、産官学協力のも

とに同分野の国全体のレベルアップと実現の加速化を図ることの重要性を理解され、本学を拠点とした日本における新しい量子ビジネスの機会を促進するための連携活動を牽引している。加えて、同氏はその卓越した知識や経験が評価され、2021年3月より、現在まで政府の総合科学技術・イノベーション会議議員（非常勤）を兼務しているところである。2021年6月からは経営協議会学外委員として、本学の経営に関する重要事項についての有益な助言を与えていただいている。

以上のように、その経歴から、同氏が経営に関する専門的知見など高い識見を有し、大学法人の経営に広く社会の多様な意見を反映させられるよう意見を述べるとともに、必要な助言を与えられること、本学の理念と目標を共有し、「世界の公共性に奉仕する大学」を目指し、その実現に貢献できること、及び本学と社会のステークホルダーの双方向的な連携を推進し、互いに共通する公共的な利益を追求できるよう尽力する意思を有することが認められる。すなわち、「東京大学経営協議会の学外委員の選考方針等について（令和3年3月18日 役員会決定）」に定める選考方針各号に掲げる事項を全て満たしていると判断できる。